



心温まる「伝統」～朝のボランティア～

校長 葉山靖彦

11月も下旬となり、朝の学校のグリーンベルトはケヤキの葉でいっぱいになります。紅葉を感じる素敵な季節ではありますが、落ち葉の掃除も大変です。

本年度も、自発的にボランティア活動に参加する生徒が落ち葉を一生懸命に集めてくれます。落ち葉の様子を見て、一日一日、参加する生徒が増えているのも心強く感じています。『状況を見て、必要だと思うときには行動に移せる』・・・ボランティアに限らず、どんな場面でも大切にしたい姿勢です。今年は、1年生も続々と参加しているのが特長です。先輩たちの思いが1年生にもしっかりと伝わってきているのを感じます。また、ボランティアに参加している人の挨拶や笑顔が際立って見えるのは、やはり善行をしているからこそ滲み出てくる元気や明るさ、自信なのでしょう。ボランティアだけでなく、自分の生活している一つ一つのことに意味と意義を見つけて、力強く自分の生活を創り出してほしいと願います。

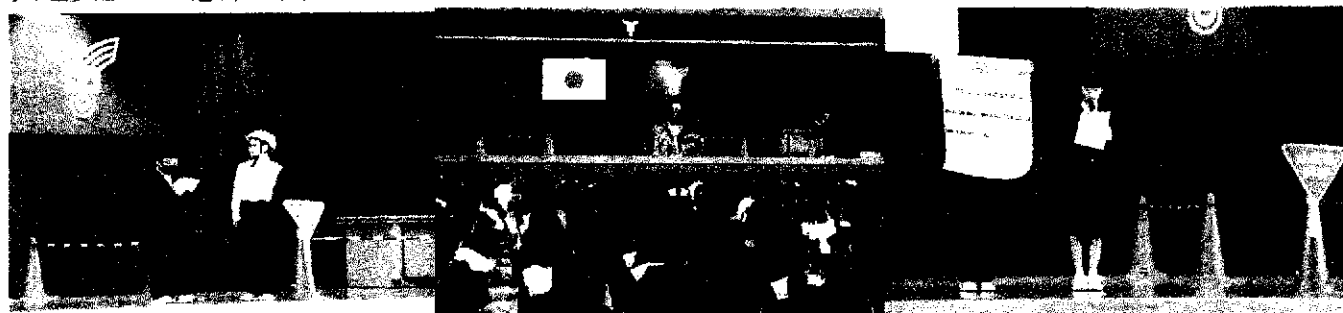
刈南中が大切にしている言葉の一つに『相手満足』という言葉があります。これは、「自分が良いと思うだけでなく、相手（から見て）も十分に満足してもらえる行動を取る」ということです。朝少しの早起きと10分ほどの掃除で、たくさんの人が幸せな気持ちになります。「相手（周りの人）」が喜んでくれることを進んでできる南中生。先輩から伝えられる「心温まる伝統の心」だと思います。

その心も「シンカ」していくこれからの刈南中は、どんな学校になっていくのでしょうか。



交通安全教室を受けて

刈谷南中学校は、交通量の多い地区のため、一般の方の通行や小学生の登下校との重なりがある場合を想定し、「スクランブル交差点では自転車を降りて通行する」といった自転車の登下校でのルールを学校独自で創っています。中学生の自転車での事故は件数も多く、大きなケガに繋がりがかねないものです。交通安全について、これまで何度も考える機会をつくってきました。今回は、刈谷警察署の方から1年生が交通安全教室で学んだことを生徒集会で他学年の生徒へ伝達しました。一人一人の交通安全への意識が高まることを願っています。



地域に支えられ、地域で活躍する中学生

全国的にさまざまな「地域学校協働活動」が展開されてますが、刈谷市として、中学校では、地域からの要請を受けて、中学生が地域貢献活動としてボランティアに参加しています。以下に、今年度、実施したボランティアを紹介します。中でも、下り松川間引き作業ボランティアは、大勢の参加があり、地区の方と力を合わせて、地区の河川美化のためにがんばっています。

令和7年度ボランティア参加者まとめ

11.30現在

日にち	内容	参加人数
5月5日	刈谷春祭・山車祭り	20
5月18日	ソフトバレー大会	7
6月8日	ニュースポーツ大会	14
6月29日	カナダ・ミササガフェア	12
7月24日・25日	車イスラグビー大会	6
9月14日	チャレンジランキング大会	46
10月26日	レクレーション大会	24
11月1日	下り松川間引き作業	195
11月30日	避難所開設訓練	63
12月21日	大餅つき大会	10
12月21日	特別芸能発表会	7



P T A花壇の苗植えボランティア

P T A活動の一つである花壇の苗植えが、厚生委員の呼びかけで集まった参加者で行われました。色とりどりのパンジーやビオラ、デイズやキンギョソウなどの苗を、配置を工夫しながら植えていき、今年度も素敵な花壇が出来上がりました。苗植えが終わった後は、給食試食会で栄養教諭から話を聞きながら、おいしく給食を食べました。生徒が給食を食べている様子を参観する時間もあり、家庭で給食の話題に会話がはずむ様子が想像されました。また、参加者同士で一緒に活動や体験をするなかで、繋がりが生まれていくのを感じました。

